

講演・訓練は2時間(2コマ)が理想です。(防災訓練1時間・講話1時間)

《 受付は開催1ヶ月以上前から、事前打合せを3週間前まで(内容打合せ)、内容確認1週間前まで(表現内容確認) 》

講演料は1～3万円(要相談) (宮城県外等で宿泊が必要な場所では宿泊費と交通費が必要になります)

	実地日	会場	タイトル/目的	内容	主催	対象	実施時間
12	2016年 12月 5日(月) (平成28年)	愛媛県宇和島市立 御槇小学校	「災害ってな～に？」 /自分達が住んでいる所では、 どのような事が起こるだろうか？	防災学習 人がおこす災害(事故)、自然が起こす災害・洪水・ 土砂災害・竜巻・雷・地震・津波など	御槇小学校	全校生徒	1時間
							写真と映像を使って様々な災害を知ってもらおう。
11	2016年 9月15日(木) (平成28年)	仙台市立中山中学校	「地域の防災を考える」	平成28年度「防災教室」 1 中学生の皆さんへの期待 2 中山中学校周辺の3・11大震災での被災状況 3 事前の取り組み 4 各地区の取り組み 5 今後の備え・対応 6 受災前の自助・受災後の共助について	中山 中学校	全校生徒	1時間
							発災後、中山中中学生徒はボランティア活動に参加！学校では避難所支援に取組み大活躍。中山小学校では、二日目から、炊出しのためにお椀にサランラップをかける作業等に自ら手を上げ参加、500人余の避難者への提供に大活躍。
10	2015年 6月14日(日) (平成27年)	塩竈市立第三中学校	「災害時の応急手当について」 /どこの家庭にもあるラップや 女性がもっているストッキングで 手当てする方法を学んでもらう。	食品用ラップで火傷や切り傷を保護したり、ストッキングを包帯や三角巾代わりにする方法を実際を使って学んでもらった。	塩竈市	生徒と 地域住民	1時間
							お互いに手当てする側、される側になり実際に出来るように練習をした。(自宅でも練習できる。)
9	2015年 3月26日(木) (平成27年)	塩釜高等学校	「高校生にできる災害ボランティア」 /兵庫県の神戸甲北高校生徒 17名と塩釜高校生徒20名に災 害時に高校生ができるボラン ティアを知ってもら	1978年 6月12日の宮城県沖地震と、1995年1月17日の 兵庫県南部地震について 1. 自分の命は自分で守る。 2. 避難所運営は避難者で行う。 3. 被災者は被害者ではない。 4. 被災地のボランティアセンターでは何をするのか？	塩釜高校 生徒	両校生徒	10:00 ～ 11:00
							震災を知らない神戸甲北高校の生徒に被災地を見てもらい、仙台市荒浜地区で被災者の体験談を直接聞いてもらってから講話を行った。
8	2015年 3月16日(月) (平成27年)	仙台YMCA校舎	「災害と学生」/国連防災世界 会議で全国から来仙している大 学生に大学生として災害時に何 が出来るか？を学んでもらう	兵庫県南部地震、東北地方太平洋沖地震、広島県 豪雨土砂災害で大学生が関わった事についてまな んでもらった。	国際ボラン ティア	災害ボラン ティアを経 験・興味ある 学生	10:00～11:30
7	2014年 7月22日(火)・ 24日(木)・29日(火) (平成26年)	MDRC事務所	仙台東高等学校 職場訪問 「志 教育」/NPO法人MDRC はどんな事をしているのか？を	生徒が事前に出した質問事項にQ&Aで答える形 式で、「ボランティアとは」「NPOとは」を学んでもら った。	仙台東 高等学校	1学年 13名	それぞれ2時 間

講演・訓練は2時間(2コマ)が理想です。(防災訓練1時間・講話1時間)

《 受付は開催1ヶ月以上前から、事前打合せを3週間前まで(内容打合せ)、内容確認1週間前まで(表現内容確認) 》

講演料は1～3万円(要相談) (宮城県外等で宿泊が必要な場所では宿泊費と交通費が必要になります)

	実地日	会場	タイトル/目的	内容	主催	対象	実施時間
6	2013年 6月 9日(日) (平成24年)	塩竈市立第三中学校	「生き残る、生き延びる、避難所のルール」 /災害に対する知識があれば死なずに済む、避難所で周りに迷惑をかけずに生活する方法を学んでもらう。	地震・津波の歴史と震度・マグニチュードについて 震災を経験して亡くなった人と生き残った人との違いについて。生き残るために、地震が起きた時自分が何処にいたらどの様な行動を取るべきか？ 生き延びるために、何をしなければならないのか？ 避難所でやってはいけない事、やらなければいけない事は・・・。 都市直下型地震、南海トラフ巨大地震について	塩竈市	生徒と地域住民	1時間
5	2009年11月5日(木) (平成21年)	仙台市立六郷中学校	六郷中学校防災教室 /災害時に役立つ事を学んでもらう	災害時における救急法、ロープ結び、炊出し訓練等、アルファ米での炊出し、ラップを敷いたお椀で味噌汁を食べる。	PTA	1学年	2時間時間
4	2009年 6月26日(金) (平成21年)	塩釜女子高等学校	「地震・避難 そのあとは？」 /あなたの地震災害に対する対応は？ 学校にいる時に被災した時の対応を、Q&A形式で生徒に考えてもらう 地震に備えるための、自宅での心得を知ってもらう	① 普段から携帯していた方がよいアイテムは？ ② 自宅にいる時に大地震が起きた場合、あなたが最初にとる行動は？ ③ 地震発生後、柱(がれき)に足をはさまれて長時間身動きができず苦しんでいる人がいます。あなたはどうしますか？ ④ 海岸にいる時に揺れを感じました、あなたならどうしますか？ ⑤ 大規模災害の時、家族と連絡をとる方法は？ ⑥ 大規模災害の時、家をはなれて避難する場所 は？ ⑦ 学校にいる時に大地震が起きた場合、徒歩で通学しているあなたがとる行動は？ ⑧ 学校にいる時に大地震が起きた場合、電車で通学しているあなたがとる行動は？ ⑨ 学校の体育館が避難所になり、近隣の人が避難してきました あなたがとる行動は？ ⑩ 避難所でのルール	PTA	全学年	避難訓練後 1時間
							この日は午前9時から市内の全小中学校で「塩竈市総合防災訓練」が行われた。9:30～避難所開設開始、10:40～11:40当講話。12:50～13:40防災主任による防災学習「いなむらの火」について、が行われた。 カセットコンロを使えない生徒が多数いた。 生徒の反応:今まで考えた事がなかった。 携帯電話が使えなくなると思わなかった。 その時になってみないと何が必要なかわからない。 学校に残って皆の手伝いをする。 電話ボックスの場所を、覚えておく。 親の反応:PTA役員と懇談した時に「生徒の机の中に水とクラッカー等の非常食を備えては？」と提案したが、『誰が購入するのか？(金を出すのか？)』との発言に私は口閉じた。自分の子供を自分で守る気が無い親がいる。学校内の事は学校が責任を持たせる、という考えを持っている親がいる。

講演・訓練は2時間(2コマ)が理想です。(防災訓練1時間・講話1時間)

《 受付は開催1ヶ月以上前から、事前打合せを3週間前まで(内容打合せ)、内容確認1週間前まで(表現内容確認) 》

講演料は1～3万円(要相談) (宮城県外等で宿泊が必要な場所では宿泊費と交通費が必要になります)

	実地日	会 場	タイトル/目的	内 容	主 催	対 象	実施時間
3	2008年11月14日(金) (平成20年)	塩釜女子高等学校	「災害とボランティア」について /災害ボランティアの紹介により 高校生でも出来る事に気づいて もらう	① 各地の被災現地の状況説明 ② TVで放送された参考映像を見る	PTA	2学年	2時間
					生徒の反応:被災地では色々な問題がある、ボランティアさんが来てくれる事がわかった。		
2	2007年 1月18日(木) (平成19年)	仙台第二高等学校	中越地震のボランティア活動について～若者の活動/講演	災害ボランティアに参加した高校生や大学生のようすなどを紹介した。	仙台第二 高等学校	全学年	1時間半
1	2005年 0月8・9日 (土・日)(平成17年)	塩竈市立第三小学校	「火事だ!地震だ!さあ逃げ /避難生活の疑似体験企画	塩竈市立第三小学校創立70周年記念事業として1泊2日で、災害で避難所に泊まる体験をしてもらった。自衛隊の災害救助設備の実演・展示・炊出しなど。宮城RBによる被災地の様子や活動報告など。段ボールを使って寝床を自分で作り就寝。	PTA	生徒・父兄	3時間
					後 援: 塩竈市、塩竈市教育委員会、MIC-22塩釜、 協 力: 宮城RB、陸上自衛隊第22普通科連隊、塩釜消防署、塩竈市総務部 防災安全課、塩釜商工会議所青年部、他		